

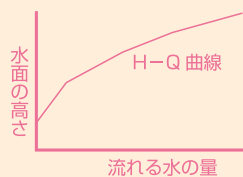
ため池の水収支

ため池の水があふれたり、空にならないように計画的に水を使うことは大切なことですが、ため池に入ったり出たりする水の量（水収支）は、ため池に流れ込む水の量や田んぼで使った水の量によって変わります。そこで水位計（水の深さを計る道具）を使って、水収支を簡単に求める方法を紹介します。



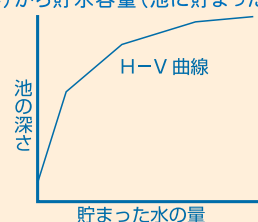
ポイント1

水路を流れる水の量を連続的に計ることはむずかしいですが、ある時点の水位（水路を流れる水面の高さ）、流量（流れる水の量）を計測しグラフに表すことにより、簡単に水位から流量を求めることができます。この曲線は水位-流量曲線（H-Q曲線）と呼ばれます。



ポイント2

池の深さと池に貯まった水の量をグラフに表すことにより、簡単に水位（池の水面の高さ）から貯水容量（池に貯まった水の量）を求めることができます。この曲線は水位-容量曲線（H-V曲線）と呼ばれます。



愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部 農業工学グループ